



JAPANISCHE SCHULE IN ZÜRICH

チューリッヒ日本人学校  
学校だより

# 希 望

令和6年2月9日

第16号

## 日本文化について

去る1月26日（金）にカルタ・百人一首大会、餅つき体験学習を実施しました。低学年のカルタ大会ではスイスに関するカルタ、そして小学部3年生以上は百人一首に挑戦しました。上の句を読んだだけで、下の句の取り札を取る児童生徒がおり、本当に感心させられました。昔の人の詠んだ和歌に思いをはせながら、その歌を一つでも二つでも覚えていくというのは価値のあることだと思います。また、その後の餅つき体験では、今ではなかなか見ることができなくなった臼と杵で餅つきをし、それを食べました。これも、日本の食文化の一つであり、みんな非常においしそうに食べていたのが印象的でした。

このように、日本には長い歴史の中で育まれてきた文化や風習、民族性などがあります。今はグローバル化が進み、多くの国が協調して物事を進めていくことが大切です。しかし、日本にある良さというものは忘れてはならないと思いますし、その中には世界に誇れるものが多数あるのではないのでしょうか。

例えば、「自分よりもほかの人を優先して行動をすること」や「何事にも感謝の心を忘れないこと」など、日本で生活しているとそういう場面を多く目にします。また、学校の道德の授業でもそういうことを小学校1年生から教えていきます。「思いやりの心」や「感謝の心」です。そうやって、幼いころから育まれたものが自然と身に付いてくるのだと思います。だから、先日もあった大きな災害が起こっても、暴動を起こして商店の品物を盗んだりすることが起こらないのではないのでしょうか。逆に、お互いが協力し助け合いながら難局を乗り切っていこうとする姿がニュースなどでは多く報道されています。

また、スイスで電車に乗っているときに最初に違和感を感じたのは、電車内で平気に携帯電話で話をしていることや大きな声で会話をしたり笑ったりすることです。日本では、まず考えられないことです。ほかの人の迷惑になるので、できるだけ静かにしておくというのがマナーであり、幼いころから染みついたものだと思います。現在行われているサッカーのアジアカップでも、外国の選手は勝利するとその感情を爆発させ、目を疑うような行動をします。感情のまま行動するということは分かりますが、それは我々の育った環境では正しいものとは限りません。スポーツの試合に勝ったとしても、「敗者の気持ちも考えて」ということが、頭のどこかにはあるものです。

このように、外国人から見ると日本の文化は、外国の常識でないものもあるかもしれません。しかし、その中には、人として非常に大切なものが受け継がれてきているように思います。この日本の文化というものを、再度見つめ直し、すばらしい部分を次の世代を担う若者に受け継いでいってほしいと思っています。特に、外国で暮らす日本人学校の児童生徒たちは、外国と比較することで日本の良さを十分に実感できると思います。

（文責：校長）

# 日本文化を体験！（カルタ・百人一首大会、もちつき体験）

小学部1年

ぼくは、カルタをやりました。さいしょはいっぱいとれたけど、あとから2年生にたくさんとられました。さいごはみんなの手がかさなりました。ゆいさんもぼくも11まいだったのでびっくりしました。くやしかったから、来年は1年生にまけないようにがんばります。



小学部4年

ぼくは、百人一首大会もちつきも初めてでした。百人一首では、下の句を読まれたときにしか取れなかったけど、8まいもとれました。もちつきでは、もちをつくのも楽しかったし、もちにきな粉をかけて食べるのもおいしかったです。

どちらも楽しくて思い出に残りました。日本に帰ってもやりたいです。

小学部5年

ぼくは、もちつき体験が特に心に残りました。理由は、自分たちでついたおもちを食べることができたからです。おもちをついているときは、このおもちはどんな味になるのだろうと考えながらつきました。

スイスでは、日本の文化にあまりふれることができないので、こういった機会にふれることができてよかったです。



小学部6年

今年のカルタ・百人一首大会はちょっぴりくやしかったです。自分の得意な札が遠かったり、気をゆるめているときに、自分が覚えている札を取られたりしました。来年はもっと札を覚えて、がんばりたいです。

もち丸めは、きれいに早くできたのでよかったです。砂糖じょう油とのりで巻いたもちがとってもおいしかったです。

中学部2年

スイスで日本の文化を体験できる貴重な機会、百人一首大会ともちつき体験のどちらにも楽しく参加することができました。百人一首大会では、チームみんな集中して取り組みました。もちつき体験では、もちをついたり、丸めたり、普段ではできないようなことが体験できて、おもちもいつもよりおいしく感じました。日本では、当たり前に出たことが、海を越えるだけで、全然違うように感じました。これからの学校生活も、もちパワーで頑張りたいと思います。

